（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	エアライン科（客室乗務員コース） （旧 国際エアライン科エアラインコース）	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	客室乗務員として機内でお客様の安全を守り、快適な空の旅を提供するために必要な資質、知識、技術、マインドの習得を目指す。 また英語でのコミュニケーション能力の向上と関連資格の取得に加え、実践的な演習を通した様々な状況に対応できる現場力を身につける。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】TOEIC Listening＆Reading Test、実用英語技能検定、全国手話検定試験3級、サービス接遇検定試験1級、 日本語検定3級、ビジネス実務マナー検定試験2級、ビジネス文書検定試験2級、日本赤十字社救急法救急員、Powerpointプレゼンテーション技能認定試験初級、 Excel表計算処理技能認定試験3級

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,980 単位時間 単位	870 単位時間 単位	480 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	630 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
80 人	36 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	: 11	人
■就職希望者数 (D)	: 11	人
■就職者数 (E)	: 11	人
■地元就職者数 (F)	3	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	27	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	100	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

株式会社フジドリームエアラインズ、スカイマーク株式会社、アイベックスエアラインズ株式会社、中部スカイサポート株式会社、空港ターミナルサービス株式会社、羽田空港サービスグループ　、東京エアポートレストラン株式会社、株式会社鈴与エアポートサービス、株式会社韓進インターナショナルジャパン、関西エアポートアビエーションサービス株式会社

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	60 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	1,800 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	60 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	1 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		2 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
白川　美雪	公益財団法人　実務技能検定協会	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
磯　早苗	公益財団法人　実務技能検定協会	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
八太　健一郎	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部　部長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
園部　文利	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
柴崎　鮎美	ANAエアポートサービス株式会社 人事部　人事課	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
中西　裕子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 エアライン科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
阪本　知恵	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
松永　清美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月18日　13:30～15:30
第2回　令和7年7月22日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・内定後においても、在学中に学んだ知識を訓練や実務に活かし、スムーズに業務へ対応できることは、専門学校卒業生の強みの一つである。そのため、航空知識科目を2年間を通して実施し、企業講師を招いた授業により、実際の現場で必要となる知識を深めるだけでなく、業界で必須となる用語等を繰り返し学習し、確実に定着させる時間を増やした。
・インバウンド需要に対応できる語学力や異文化理解の重要性についての意見を踏まえ、客室英会話では、2年間を通して航空業界、特に客室乗務職に必要とされる英語力向上を目的としたカリキュラムを考案した。異文化理解については、まず自国文化を改めて見直す機会を設けるとともに、経験豊富な外部講師による特別授業を実施した。また、出前講座の実施も計画している。
・人間力の育成や、社会人として必要となるマナー力・資質を身につけるためには、それらを日常的に磨き、伸ばしていくことができる教育環境が重要であるとの意見を受け、専門授業内はもちろん、授業以外のHR時間も活用し指導の強化に努めている。身だしなみや言葉遣いをはじめとする立居振舞全般の指導に加え、気づく力を養うため、授業内容の見直しや改善にも取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
地元である 静岡空港 および 県営名古屋空港 を拠点とするリージョナル航空会社であり、地域に貢献するとともに、安全を最優先に付加価値の高いサービスを提供している。授業では、接客の基本から始まり、客室乗務員として必要となる基本業務、サービスおよび保安業務に関する知識について、実践的な指導を受ける。また、静岡空港付近に保安訓練施設を保有しており、その施設を活用して学生が脱出訓練研修を行う。なお、講師は1コマにつき1名とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業連携授業は5月、6月、9月、10月に実施する。連携授業の前後には本校担当講師による授業を行い、連携授業で学んだ知識や技能の定着を図る。授業では、客室乗務員の業務について、保安面およびサービス面の双方から実践的に学ぶとともに、常に最新の情報を授業内容へ反映させる。サービス実習・保安実習の双方において企業から評価を受け、その内容を成績に反映させる。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
客室実習Ⅰ	企業によるロールプレイ演習を通して実践的に体得する	客室乗務員の業務の柱であるサービス業務および保安業務について、ロールプレイングを通して学ぶ。機内という限られた空間において、安全で快適な環境を提供するためには、客室乗務員一人ひとりの感性や行動が重要であることを理解し、状況に応じて実践的に行動できる力を身につけることを目標とする。	㈱フジドリームエアラインズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　客室乗務員教員ブラッシュアップ研修　　連携企業等：株式会社フジドリームエアラインズ
期間：　令和8年1月13日　　対象：客室乗務員コース教員
内容　FDA 名古屋空港にて社員援助者教育

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　客室乗務員教員ブラッシュアップ研修　　連携企業等：Peach Aviation（株）
期間：　令和8年12月　　対象：客室乗務員コース教員
内容　客室乗務員の訓練施設にて実訓練見学等

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2)学校運営	基準(7) 学校運営
(3)教育活動	基準(2) 教育活動
(4)学修成果	基準(3) 教育成果
(5)学生支援	基準(4) 学生支援
(6)教育環境	基準(5) 教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受け入れ
(8)財務	基準(7) 財務
(9)法令等の遵守	基準(7) 法令の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11)国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
内野 龍樹 様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
八太 健一郎 様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
井澤 友行 様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
増崎 陽介 様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
平岩 美貴代 様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
柴﨑 鮎美 様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
並川 欣史 様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
中島 理悦子 様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
坪井 保人 様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	高等学校
塚本 裕作 様	卒業生(同窓会会長)	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	卒業生
佐藤 文俊 様	在校生保護者(後援会会長)	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期: 令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3)教職員	教職員数、組織、研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8)学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11)その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期: 令和8年6月30日

授業科目等の概要

	文化・教養専門課程　エアライン科客室乗務員コース																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			航空知識Ⅰ	航空運輸業界の仕事を理解し、そこで働く者にとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。また、航空地理や機体構造についても学び知識を深めます。講義形式	1通	30	2	○			○		○		
11	○			グランドハンドリング概論	運航支援業務の基礎知識の習得を目標とします。航空機の到着から出発までの一連の作業種類や手順をはじめ、使用機材、滑走路、ウエイトアンドバランスなど幅広く学びます。中部スカイサポート（株）との企業連携授業を実施します。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○			○	
12	○			ＴＩＭ基礎	各国のパスポート・ビザ・入国の際の規則についての英文をTIMATIC（Travel Information Manual)を使用し、読み取る力を身につけます。反復演習を行うことで、独特の言い回しに慣れることを目的とします。講義・演習形式	1後	30	2	○	△		○		○		
13	○			エアライン筆記対策	採用試験の筆記対策を行います。オンライン形式にも対応できるよう、非言語分野を中心に解答パターンを学び、スピードと正確性を高めます。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○			○	
14	○			エアライン英語Ⅰ	客室乗務員の採用書類審査通過のために必須のＴＯＥＩＣスコアを伸ばすための授業です。問題形式に慣れ、反復演習を行い、ボキャブラリーの強化をすることで効果的な学習をし、1年次の目標スコア５５０点を目指します。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○		○	○	
15	○			手話演習Ⅰ	手話の基礎を学び、手話検定4級の取得を目標とします。手話会話者との実践授業を通して、知識だけではなく心の伴った手話会話ができることを目指します。演習・講義形式	1通	60	2	△	○		○			○	
16	○			ＦＡ面接	客室乗務員に特化した面接試験の対応力を習得することを目標とします。姿勢、発声、立居振舞を磨き、第一印象の好感度を上げたうえで、会話術、自己表現力を身につけます。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
17	○			客室実習Ⅰ	客室乗務員の業務全般について学びます。正しい言葉遣い、美しい立居振舞を意識し、高いｻｰﾋﾞｽｽｷﾙを身につけます。また、保安業務の重要性を理解し、責任感を高めます。㈱ﾌｼﾞﾄﾞﾘｰﾑｴｱﾗｲﾝｽﾞとの企業連携授業実施科目。実技形式	1通	60	2			○	○		○		○
18	○			客室英会話Ⅰ	航空会社で使用されている基本的な航空用語を学び、反復学習により習得を目指します。また、機内で使用する基本的な会話表現を覚え、自然な立居振舞と共に使いこなせることを目指します。演習・講義形式	1通	30	1	△	○		○		○		
19	○			客室キャリアデザインⅠ	航空会社への就職を目指し、今必要なことを見つめ自己分析を徹底し、感性を磨き自己管理能力を高めます。客室乗務員向きの思考回路と行動様式を学びその姿に近づくことを目的とします。講義形式	1通	30	2	○			○			○	
20		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
21		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		
22		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	

23		○		ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2 通	60	2			○	○		○	○	
24	○			英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2 通	60	2			○	○		○	○	
25	○			英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2 通	120	8	○	△		○		○	○	
26	○			マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2 通	90	3		○		○		○	○	
27	○			イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2 前	30	1			○	○		○	○	
28	○			第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2 通	60	4	○	△		○		○	○	
29	○			卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2 後	60	2			○	○		○		
30		○		選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2 後	30	2	○		△	○		○	○	
31	○			航空知識Ⅱ	技術の進歩、社会の変化に合わせた航空業界の今後の展開について学びます。また、航空管制など空港施設の役割を知り、安全と定時を基本とする航空業界で働くための知識を深めることを目的とします。講義形式	2 通	30	2	○			○		○		
32	○			異文化ホスピタリティ	航空業界は国際色豊かな環境です。お客さまだけでなく社内にも外国籍の方がいます。異文化を理解し、その考えや習慣を意識した働き方やサービスができるようになることを目的とします。日本以外の国の習慣や文化を学びます。講義形式	2 通	30	2	○			○		○		
33	○			エアライン英語Ⅱ	１年次に習得したTOEIC学習法を活用し、継続してスコアアップを狙うための授業です。客室乗務員の書類審査突破に必須のＴＯＥＩＣスコアを更に伸ばしていきます。２年次前期の目標スコア６００点以上の取得を目指します。講義・演習形式	2 通	60	4	○	△		○		○	○	
34	○			ユニバーサルサービス	高齢者や配慮の必要なお客様に、客室乗務員ができる気配りやサービス介助の方法を資格を有する教員から学びます。即戦力となる介助方法を習得することを目標とします。演習・講義形式	2 通	60	2	△	○		○		○		
35	○			手話演習Ⅱ	手話検定３級の取得を目標とし、さらに応用力を高めます。また、機内や空港でのあらゆる場面に応じた幅広い接客会話を習得し、ホスピタリティあふれる手話会話を目指します。演習・講義形式	2 通	60	2	△	○		○			○	
36	○			客室実習Ⅱ	客室実習Ｉの学びを深めるだけでなく、イレギュラー対応等、状況に合わせ臨機応変に対応する力を養います。コース外連携授業では、身につけた専門知識を発揮し、実践的かつ柔軟に接客応対できることを目標とします。実技形式	2 通	60	2			○	○		○		
37	○			客室英会話Ⅱ	客室英会話Ｉで習得した用語や表現を使い、コース外連携授業では英語での機内サービスロールプレイを実施します。業務で実際に使われる様々な英語表現に触れ、英語力の底上げを目指します。演習・講義形式	2 通	60	2	△	○		○		○		
38	○			客室キャリアデザインⅡ	採用面接試験で自身を最大限に表現できる力を養います。他者に共感できる心と目標に向かって努力し続けられる強い精神力を養い、将来航空業界で活躍できる人材育成を目指します。講義・演習方式	2 通	30	2	○	△		○			○	
合計					38　科目			1980 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	エアライン科（ｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌｺｰｽ） （旧 国際エアライン科ｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌｺｰｽ）	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	航空機の円滑な運航を支援する空港地上支援スタッフの業務を理解し、グランドスタッフからハンドリング分野までの高い専門性を習得する。カウンター業務や空港内サービス、機側業務など幅広い知識とプロ意識を持った人材を育成する。業界にふさわしい立ち居振る舞い、専門英語力、臨機応変な接客スキルを身につけ、即戦力となることを目標とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】TOEIC Listening＆Reading Test、実用英語技能検定、全国手話検定試験3級、サービス接遇検定試験準1級、 日本語検定3級、ビジネス実務マナー検定試験2級、ビジネス文書検定試験2級、日本赤十字社救急法救急員、Powerpointﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技能認定試験初級、 Excel表計算処理技能認定試験3級、アマデウスシステム検定Fundamentals

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,980 単位時間 単位	870 単位時間 単位	390 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	720 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
80 人	42 人	0 人	0 %	5 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	: 13	人
■就職希望者数 (D)	: 13	人
■就職者数 (E)	: 13	人
■地元就職者数 (F)	2	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	15	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	100	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

ANA成田エアポートサービス株式会社、ANA中部空港サービス株式会社、株式会社ドリームスカイ名古屋、株式会社鈴与エアポートサービス、株式会社Kスカイ、サンヨー航空サービス株式会社、株式会社エコーパートナーズ

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	90 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	1,800 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	90 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	1 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		1 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	1 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
白川　美幸	公益財団法人　実務技能検定協会	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
磯　早苗	公益財団法人　実務技能検定協会	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
八太　健一郎	株式会社フジドリームエアラインズ 客室乗員部　部長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
園部　文利	株式会社ドリームスカイ名古屋 総務部　人事グループ　マネジャー	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
柴崎　鮎美	ANAエアポートサービス株式会社 人事部　人事課　マネジャー	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
中西　裕子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 エアライン科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
阪本　知恵	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
松永　清美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月18日　13:30～15:30
第2回　令和7年7月22日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
企業で求められる人材として、自立的に考え、行動し、発信できることが重要であるとの意見から、1年生はHR内の日常指導に重点を置いている。気づきの力の基本を徹底し、毎朝のエアライン業界の雑誌記事から1つ選びプレゼンテーションを実施し、それに対するコメントを発表することで発信力および傾聴力を強化。2年生には、目標（生活面・学習面）シートを毎週記入させることで、社会人になることに向けての自己の振り返りを今一度徹底し、自立することを目指している。なお、1、2年生合同でのHR実施を通して、上級生としての自覚が醸成され、互いの成長を促進している。
また、「社会人耐久力」を育成する授業運営との意見から、意見の発信力、またその意見に対する反対論にも耐えうる精神力の育成を目標に、意見の交換ができるグループワークや心と体を整えるフィジカルの授業をGSキャリアデザインの授業に取り入れ、社会人に向けての準備をしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
指導・評価をくださる企業は、日本の5大空港の一つである中部国際空港にある企業である。スカイトラックス社の空港総合ランキングでは12年連続世界1位、アジア部門では16年連続第1位を獲得している。その評価に値する空港で優れた接客レベルを以て、お客様への対応や国内線、国際線の便をバランスよく担っている。その専門的なハンドリング術、おもてなしの心をマインドの面からも指導いただく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
当科目は本校担当講師と企業の講師と打ち合わせを実施したうえで授業を計画する。連携授業は6月、9月、10月に実施。6月は空港研修も含む。講義では業務の詳細を学び、ロールプレイでは、その手順や所作を実践的に学ぶ。また日々変化する航空業界の最新の情報やルールを常に授業に反映する。企業連携授業にあわせて本校担当講師が授業を実施、連携授業でいただく評価もプラスしながら、成績評価を付ける。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
旅客実習Ⅰ	企業によるロールプレイ演習を通して実践的に体得する	運航支援業務の一つであるグランドスタッフ業務の基礎知識を習得する。チェックイン、アナウンス等の実技、及びカウンター業務からゲート業務に至るまでの一連の業務内容の詳細を知ることで、グランドスタッフの資質を理解し接客対応のホスピタリティを学ぶことを目的とする。	㈱ドリームスカイ名古屋

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　グランドスタッフコース教員ブラッシュアップ研修　　連携企業等：羽田空港サービスグループ
期間：　令和8年3月19日　　対象：グランドスタッフコース教員
内容　羽田空港における地上職ハンドリングと業務手順

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　グランドスタッフコース教員ブラッシュアップ研修　　連携企業等：ジェットスター・ジャパン
期間：　令和9年3月　　対象：グランドスタッフコース教員
内容　成田空港での地上運航支援に関する研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	基準(1)　教育理念、目標
（2）学校運営	基準(7)　学校運営
（3）教育活動	基準(2)　教育活動
（4）学修成果	基準(3)　教育成果
（5）学生支援	基準(4)　学生支援
（6）教育環境	基準(5)　教育環境
（7）学生の受入れ募集	基準(6)　学生の募集と受け入れ
（8）財務	基準(7)　財務
（9）法令等の遵守	基準(7)　法令の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	基準(8)　社会貢献
（11）国際交流	基準(8)　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
内野　龍樹　様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
八太　健一郎　様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
井澤　友行　様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
増崎　陽介　様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
平岩　美貴代　様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
柴﨑　鮎美　様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
並川　欣史　様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
中島　理悦子　様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坪井　保人　様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	高等学校
塚本　裕作　様	卒業生（同窓会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	卒業生
佐藤　文俊　様	在校生保護者（後援会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
（3）教職員	教職員数、組織、研修
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
（6）学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
（8）学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
（11）その他	その他の教育活動（附帯事業等）

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

授業科目等の概要

	文化・教養専門課程　エアライン科グランドスタッフコース																		
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			航空知識Ⅰ	航空運輸業界の仕事を理解し、そこで働くものにとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。また、航空地理や機体構造についても学び知識を深めます。講義形式	1通	30	2	○			○		○		
11	○			グランドハンドリング概論	運航支援業務の基礎知識の習得を目標とします。航空機の到着から出発までの一連の作業種類や手順をはじめ、使用機材、滑走路、ウエイトアンドバランスなど幅広く学びます。中部スカイサポート㈱との企業連携授業を実施します。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○			○	○
12	○			ＴＩＭ基礎	各国のパスポート・ビザ・入国の際の規則についての英文をTIMATIC (Travel Information Manual)を使用し、読み取る力を身につけます。反復演習を行うことで、独特の言い回しに慣れることを目的とします。講義・演習形式	1後	30	2	○	△		○		○		
13	○			エアライン筆記対策	採用試験の筆記対策を行います。オンライン形式にも対応できるよう、非言語分野を中心に解答パターンを学び、スピードと正確性を高めます。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○			○	
14	○			エアライン英語Ⅰ	グランドスタッフの採用試験通過のために必須のＴＯＥＩＣスコアを伸ばすための授業です。問題形式に慣れ、反復演習を行い、ボキャブラリーの強化をすることで効果的な学習をし、1年次の目標スコア５５０点を目指します。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○		○	○	
15	○			手話演習Ⅰ	手話の基礎を学び、手話検定4級の取得を目標とします。手話会話者との実践授業を通して、知識だけではなく心の伴った手話会話ができることを目指します。演習・講義形式	1通	60	2	△	○		○			○	
16	○			GS面接	グランドスタッフに特化した面接試験の対応力を習得することを目標とします。姿勢や発声、第一印象等に繋がるアピアランスを磨きます。採用試験で出題された質問から、表現力を強化することを目指します。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
17	○			航空予約システム演習Ⅰ	国際線の予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約 (PNR:Passenger Name Record)を作成するスキルを習得します。実習形式	1通	60	2			○	○		○		
18	○			旅客実習Ⅰ	グランドスタッフの基礎知識と業務全般を学び、ロールプレイ演習を通して実践的に体得することを目標とします。㈱ドリームスカイ名古屋との企業連携授業を実施します。実技形式	1通	60	2			○	○		○		○
19		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
20		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		
21		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	
22		○		ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	

23	○			英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
24	○			英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2通	120	8	○	△		○		○	○	
25	○			マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	
26	○			イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2前	30	1			○	○		○	○	
27	○			第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
29	○			卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2後	60	2			○	○		○		
28		○		選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2後	30	2	○		△	○		○	○	
30	○			航空知識Ⅱ	技術の進歩、社会の変化に合わせた航空業界の今後の展開について学びます。また、航空管制など空港施設の役割を知り、安全と定時を基本とする航空業界で働くための知識を深めることを目的とします。講義形式	2通	30	2	○			○			○	
31	○			ＧＳキャリアデザイン	社会人になる準備としての意識を高め、必要とされる要素をあらゆる面から学びます。また、社会人としてのマナー特化、マインドの育成も強化し、社会人耐久力を身に付けることを目指し、将来社会で活躍できる人材育成を目標とします。講義・演習形式	2通	30	2	○	△		○		○	○	
32	○			ＴＩＭ応用	搭乗カウンターでパスポートとTIMATICを確認し速読、出国の可否を判断し、お客様案内をする一連の流れをロールプレイを通して実践的に身につけることを目標とします。演習・実技形式	2通	30	2		○	△	○		○		
33	○			エアライン英語Ⅱ	１年次に習得したTOEIC学習法を活用し、継続してスコアアップを狙うための授業です。グランドスタッフの書類審査突破に必須のＴＯＥＩＣスコアを更に伸ばしていきます。２年次前期の目標スコア６００点以上の取得を目指します。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
34	○			ユニバーサルサービス	高齢者や配慮の必要なお客様に、グランドスタッフができる気配りやサービス介助の方法を資格を有する教員から学びます。即戦力となる介助方法を習得することを目標とします。演習・講義形式	2通	60	2	△	○		○		○		
35	○			手話演習Ⅱ	手話検定３級の取得を目標とし、さらに応用力を高 めます。また、機内や空港でのあらゆる場面に応じ た幅広い接客会話を習得し、ホスピタリティあふれ る手話会話を目指します。演習・講義形式	2通	60	2	△	○		○			○	
36	○			航空予約システム演習Ⅱ	予約作成のｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝｽｷﾙを学びます。運賃計算や特別ｻｰﾋﾞｽﾘｸｴｽﾄを含む応用ｽｷﾙを習得し、正確かつ迅速に予約を作成することを目標とし、ｱﾏﾃﾞｳｽｼｽﾃﾑ検定Amadeus Reservation Fundamentals合格を目指します。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
37	○			旅客実習Ⅱ	旅客実習Ⅰの基礎を踏まえ、更に専門的なイレギュラー対応、クレーム対応などを学びます。様々なシチュエーションに臨機応変に対応できるマインドとホスピタリティの育成を目標とします。企業との連携授業で、その成果を発揮します。実技形式	2通	60	2			○	○			○	
38	○			ＧＳ接遇中国語	空港カウンターやゲートなど、あらゆる場面で応用できるおもてなし中国語の習得を目標とします。ロールプレイを通して実践的にシチュエーションごとに学ぶことで生きた中国語を身につけます。講義・演習形式	2通	30	2	○	△		○			○	
合計					38 科目			1980 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	ホテル・ブライダル科 （旧 観光・ホテルﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科ホテル・ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰ	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	ホテルおよびブライダル関連の幅広い知識とサービス技能を身に付け、ホテルビジネス実務検定試験やレストランサービス技能検定、ブライダルコーディネート技能検定等の資格を取得するとともに、接遇マナーや外国人のお客様とのコミュニケーションに必要な実践的英語力も習得し、県内外のホテルやブライダル専門施設への就職を目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級、レストランサービス技能検定3級、ブライダルコーディネート技能検定3級、 TOEIC Listening＆Reading Test、実用英語技能検定、サービス接遇検定試験準1級、日本語検定3級、ビジネス実務マナー検定試験2級、 ビジネス文書検定試験2級、Powerpointﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技能認定試験初級、Excel表計算処理技能認定試験3級

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,980 単位時間 単位	780 単位時間 単位	390 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	810 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
120 人	85 人	1 人	1 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)　：　33　人
■就職希望者数 (D)　：　33　人
■就職者数 (E)　：　33　人
■地元就職者数 (F)　8　人
■就職率 (E/D)　100　%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)　24　%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)　100　%
■進学者数　0　人
■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等
（令和7年度卒業生）
シャングリ・ラ東京、(株)ニュー・オータニ、マンダリンオリエンタル東京、フォーシーズンズホテル東京大手町、(株)パレスホテル東京、パークハイアット東京、(株)森ビルホスピタリティコーポレーション、ザ・キャピトルホテル東急、(株)東京ドームホテル、(株)ベストホスピタリティーネットワーク、横浜グランドインターコンチネンタルホテル、ヒルトン横浜、ウェスティンホテル横浜/大阪、(株)ホテル、ニューグランド、富士屋ホテル(株)、シェラトングランデトーキョーベイホテル、ハレクラニ沖縄、西武プリンスホテルズワールドワイド、(株)星野リゾートマネジメント、リゾートトラスト(株)、富士スピードウェイホテル、オークラアクトシティホテル浜松、(株)マグナリゾート、休暇村協会、トーカイシティサービス(株)、あいネットサービス(株)、(株)安心堂ほか

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし
※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	90 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	90 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	3 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		3 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	3 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
埜村　昇	公益社団法人　静岡県観光協会 事業統括ディレクター	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
中島　理悦子	富士スピードウェイホテル 人事部長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
並川　欣史	名鉄観光サービス株式会社 静岡支店 支店長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
草場　美奈子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 ホテル・ブライダル科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
白鳥　佑弥	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総合観光サービス科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
水谷　和史	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
青柳　宗宏	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月19日　9:30～11:30
第2回　令和7年7月23日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
ホテルブライダル業界で活躍するために必要なカリキュラムが組まれているため、大きく何かを変える必要はないが、ベジタリアン、ハラルなどの異文化理解についての知識やホテル英会話力を身につけられるとよいというお話があった。それに対し、即戦力として活躍できる学生を排出すべく、宗教や異文化の項目に関する講義の強化と、ホテル英会話も実際の場面を想定した実演形式で行うなど、内容をブラッシュアップしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
現場でオペレーションを担当しているスタッフを講師として招き、入社後に現場ですぐに使える知識と技術を身につけることを基本とする。また、業務内容解説・それに沿ったロールプレイング等を行い、専門書には載っていない実践的な話も踏まえながらホテル・ブライダル業界で働く魅力を伝えていく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
学内もしくはホテルの現場で授業を実施する。ブライダル部門や宴会部門、料飲部門や宿泊部門など各部門の方々より、講義および実技形式で実施いただく。評価は企業担当者が連携授業に係る箇所について100点満点で行い、その他の授業は専任教員の試験により評価、各評価を合算して最終評価とする。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ホテル概論	来校いただき知識を学ぶ講義スタイルと、ホテルを訪問し、現場で宿泊部の業務、料飲宴会部の業務を学ぶ演習スタイルで授業を行う。	企業連携により、宿泊・料飲分野の業務を座学と実習形式で学ぶほか、ホテル業界の幅広い知識を身に付け、勉強の成果としてホテルビジネス実務検定試験合格を目指します。	株式会社日本平ホテル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ホテルウェディング研修　　連携企業等：株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション
期間：　令和8年3月7日　　対象：ホテル・フライダル科教員
内容　ホテルで行われる結婚式の、キャプテン、サービスオペレーションを学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ホテル・ブライダル研修　　連携企業等：ホテル・ブライダル施設
期間：　令和9年2月　　対象：ホテル・フライダル科教員
内容　専門科目で授業展開できるための最新の業界情報、スキル、知識等のブラシュアップ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	基準(1)　教育理念、目標
（2）学校運営	基準(7)　学校運営
（3）教育活動	基準(2)　教育活動
（4）学修成果	基準(3)　教育成果
（5）学生支援	基準(4)　学生支援
（6）教育環境	基準(5)　教育環境
（7）学生の受入れ募集	基準(6)　学生の募集と受け入れ
（8）財務	基準(7)　財務
（9）法令等の遵守	基準(7)　法令の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	基準(8)　社会貢献
（11）国際交流	基準(8)　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
内野　龍樹　様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
八太　健一郎　様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
井澤　友行　様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
増崎　陽介　様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
平岩　美貴代　様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
柴﨑　鮎美　様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
並川　欣史　様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
中島　理悦子　様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
坪井　保人　様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	高等学校
塚本　裕作　様	卒業生(同窓会会長)	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	卒業生
佐藤　文俊　様	在校生保護者(後援会会長)	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　))
URL:　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期:　令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3)教職員	教職員数、組織、研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8)学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11)その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ)　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　))
URL:　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期:　令和8年6月30日

授業科目等の概要

文化・教養専門課程　ホテル・ブライダル 科

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			ホテル概論	ホテル業界を体系的に理解することを目標とします。知識の基礎を築くため、業界の歴史やホテル名、職種ごとの業務などを順序良く学び、ホテルビジネス実務検定試験にも挑戦します。講義・実技形式	1通	90	6	○		△	○	○	○	○	○
11	○			料飲・宴会サービス実務Ⅰ	フルコース料理のサービス技能とサービス英会話の習得を目標とします。カトラリーやテーブルの名前、テーブルセッティングの方法などを実践で学び、確実に実力をつけていきます。実技形式	1通	90	3			○	○		○		
12	○			ホテル宿泊実務	宿泊業務に携わる仕事の業務理解と技能習得を目標とします。ドア、ベル、フロントなどの接客を日本語と英語のロールプレイング形式で学ぶことにより、ホテルスタッフとしての応対力も身に付けます。実技形式	1前	30	1			○	○		○		
13	○			ブライダル概論	プランナーをはじめ、ブライダル業界の仕事や業務理解を目標とします。業界の歴史や業務内容、また、挙式・披露宴の成り立ちを知るために、挙式のスタイルやペーパーアイテム、衣装知識まで幅広く学びます。講義形式	1通	60	4	○			○		○		
14	○			ブライダル実務Ⅰ	ブライダルプランナーの接客業務を実演できることを目標とします。新規接客業務をロールプレイング形式で実践することにより、幅広い提案力、接遇力を身に付けます。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
15	○			テーブルコーディネート	テーマごとのテーブルコーディネートを考え、セッティングできることを目標とします。コーディネートに欠かせない装花や色彩の知識を深め、季節のコーディネートを作るなど、感性を磨きます。実技・演習形式	1通	60	2		△	○	○			○	
16	○			ホテル・ブライダルキャリアビジョン	自身のキャリアプランを描き、夢実現のための準備をすることが目標です。ホテル・ブライダル業界に特化したサポートを行い、入社3年後、5年後、10年後をイメージしていきます。演習・講義形式	1後	30	1	△	○		○		○		
17		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
18		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		
19		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	
20		○		ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
21	○			英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
22	○			英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2通	120	8	○	△		○		○	○	

23	○			マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	
24	○			イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2前	30	1			○	○		○	○	
25	○			第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
26	○			卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2後	60	2			○	○		○		
27		○		選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2後	30	2	○		△	○		○	○	
28	○			食文化とレストラン	レストランサービス技能検定学科試験の合格を目標とします。レストランサービスに必要な食文化や食材、ワイン、チーズなど幅広い知識を学びます。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○		
29	○			料飲・宴会サービス実務Ⅱ	１年次に身に付けた基本スキルを更に発展させることを目標とします。バーやレストランにおけるカクテルのレシピや作り方、宴会場での飲料の準備など、応用のサービス技術を実践を通して学びます。実技・演習形式	2後	30	1		△	○	○		○		
30	○			バンケット・レストランオペレーション	個人スキルだけでなく、チームとしてのオペレーション力や全体を見渡し把握する力を磨くことを目的とします。チームを組み、バンケット（宴会）や婚礼、レストランのオペレーションを行います。実技・演習形式	2前	30	1		△	○	○		○		
31	○			レストランサービス実務	１年次に身に付けた技能をもとに、お客様に合わせたサービスの習得を目標とします。オーダーテイクを交えロールプレイングを行い、レストランサービス技能検定実技試験に臨みます。実技形式	2通	60	2			○	○		○		
32	○			ホテルマネジメント	ホテルをビジネスとしてとらえる視点を養うことを目標とします。接客部門以外の仕事も学び、ホテルについて一層の理解を深めます。またホテルの運営にも触れていきます。講義・演習形式	2前	30	2	○	△		○		○		
33	○			プロトコール	国際儀礼を学び、賓客接遇の基本を身に付けることを目標とします。テーブル席次や国旗の取り扱い、呼称、敬称等、数多くある国家間の取り決めを学びます。講義・演習形式	2後	30	2	○	△		○		○		
34	○			ブライダル実務Ⅱ	自身でテーマ設定、プランニングができることを目標とし、ブライダルプランナーの打ち合わせ業務をロールプレイング形式で学びます。学習の成果として、実際の会場で模擬ブライダルを実施します。演習形式	2通	90	3		○		○		○		
35	○			ブライダルコーディネート	１年次に学んだ基礎を活かし、ブライダルのコーディネート技術習得を目標とします。集大成としての模擬ブライダルでは、会場装花を含めたテーブルコーディネートやブーケ、演出アイテムの作成なども行います。演習形式	2後	60	2		○		○		○	○	
合計					35 科目													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	２期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	総合観光サービス科 （旧 観光・ﾎﾃﾙﾌﾟﾗｲﾀﾞﾙ科観光ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ）	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	観光・交通・宿泊などの専門知識をベースに、魅力ある旅行の企画力や提案力・コーディネート力を身に付け、国家資格である旅行業務取扱管理者資格や法定資格である旅程管理主任者資格を取得するとともに、海外旅行先や訪日旅行客とのコミュニケーションにおける英語力も習得し、観光・旅行業界への就職を目指すことを目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】 国内旅行業務取扱管理者、国内旅程管理主任者、世界遺産検定、Amadeus Reservation Fundamentals（アマデウスシステム検定）、TOEIC Listening＆Reading Test、実用英語技能検定、サービス接遇検定試験準1級、日本語検定3級、ビジネス実務マナー検定試験2級、ビジネス文書検定試験2級、Powerpointﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技能認定試験上級・初級、Excel表計算処理技能認定試験2・3級

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,980 単位時間 単位	1,020 単位時間 単位	450 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	510 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
40 人	18 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)　：　4　人
■就職希望者数 (D)　：　4　人
■就職者数 (E)　：　4　人
■地元就職者数 (F)　2　人
■就職率 (E/D)　100　%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)　50　%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)　100　%
■進学者数　0　人
■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

富士急トラベル株式会社、日本スキー場開発株式会社、株式会社NEW ART HOLDINGS　など

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	120 単位時間
うち必修授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	120 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	1 人
計		1 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	1 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
埜村　昇	公益社団法人　静岡県観光協会 事業統括ディレクター	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
並川　欣史	名鉄観光サービス株式会社 静岡支店 支店長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
中島　理悦子	富士スピードウェイホテル 人事部長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
白鳥　佑弥	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 総合観光サービス科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
草場　美奈子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 ホテル・ブライダル科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
水谷　和史	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
青柳　宗宏	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月19日　9:30～11:30
第2回　令和7年7月23日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
一般的な旅行の「出ていく」だけではなく「着地型」「地方創生」の知識も習得し、トータルで観光の力をつけて「各市町の課題解決ができる人材」の育成ができると、「総合観光サービス」として地域貢献に繋がるとのご意見をいただき、「地方創生」についての授業に取り組んだ。また新たなカリキュラムにも必修科目として導入をする。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
指導・評価していただく企業は、地域に密着した旅行会社で、学生がツアープランを考える際に、具体例を交えてわかりやすく指導していただける担当者がいる会社を選定した。また、専門書には載っていない実践的な話も踏まえながら、ツアープランの面白さ、奥深さ・難しさを伝えていただける企業風土を持っていることも考慮した。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
当科目はコース担当教員と企業との連携講義によって行う。連携企業は月1回程度のペースで当科目の講義を実施し、不在の間は担当教員が企業との相談の上で講義や準備を実施する。重要部分の確認として担当者様から内容の評価と改善方法を直接教示いただき、次のステップへとつなげてプレゼンテーション後に学生毎の総合評価を付ける。この評価を基に教員がこの科目の評価を学生に付ける。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ツアープランニング基礎	企業から旅行のプランニングについて基礎知識を習得する	ツアープランの作成の基礎として、旅行観光プランを作成し、自分たちで行くことを目的とする。業界の現状の講義からはじまり、プランのポイント、決定地域における観光ポイントなどを解説、プランの作成を行う。	名鉄観光サービス株式会社
ツアープランニング応用	企業から旅行のプランニングについて応用技術を習得する	ツアープランニング基礎と座学・演習を通して学んだ知識を活かし、国際交流科・国際ホスピタリティ科の日本文化研修を企画、実施を行う。ヒアリング、打合せ、説明会、添乗、精算まで、旅行の一連の流れを実施する。	名鉄観光サービス株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　募集型企画旅行　主任添乗業務研修　　連携企業等：株式会社大鉄アドバンス
期間：　①令和7年5月27日（火）　②6月1日（日）～6月2日（月）　　対象：総合観光サービス科教員
内容　①打合せ・準備（当日の流れ・施設確認 等）、②草津・万座温泉、長野方面 1泊2日添乗（バス・食事・宿・立寄り 等）

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　観光・旅行業界ブラッシュアップ研修　　連携企業等：株式会社大鉄アドバンス
期間：　令和8年10月頃　　対象：総合観光サービス科教員
内容　業界の現状における最新の業務、課題を知る。また、業務専門知識のブラッシュアップ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	基準(1)　教育理念、目標
（2）学校運営	基準(7)　学校運営
（3）教育活動	基準(2)　教育活動
（4）学修成果	基準(3)　教育成果
（5）学生支援	基準(4)　学生支援
（6）教育環境	基準(5)　教育環境
（7）学生の受入れ募集	基準(6)　学生の募集と受け入れ
（8）財務	基準(7)　財務
（9）法令等の遵守	基準(7)　法令の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	基準(8)　社会貢献
（11）国際交流	基準(8)　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
内野　龍樹　様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
八太　健一郎　様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
井澤　友行　様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
増崎　陽介　様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
平岩　美貴代　様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
柴﨑　鮎美　様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
並川　欣史　様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
中島　理悦子　様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坪井　保人　様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	高等学校
塚本　裕作　様	卒業生（同窓会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	卒業生
佐藤　文俊　様	在校生保護者（後援会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
（3）教職員	教職員数、組織、研修
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
（6）学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
（8）学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
（11）その他	その他の教育活動（附帯事業等）

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

授業科目等の概要

文化・教養専門課程　総合観光サービス科

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			国内実務総合	国内旅行で使用する交通手段の規則や運賃・料金計算手法の基礎知識習得を目標とします。JR、航空、貸切バス、フェリー等について理解し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。講義形式	1前	90	6	○			○		○		
11	○			観光地理Ⅰ	日本国内における観光資源の知識習得を目標とします。世界遺産・国宝・名所・温泉・祭・名産品などについて、所在地・プロフィールなど観光資源全般について学びます。講義形式	1通	60	4	○			○			○	
12	○			旅行業法規	旅行業法・旅行業約款の学習を通して旅行現場で働く上で必要な規則を理解できることを目標とします。講義形式	1前	60	4	○			○			○	
13	○			ツアープランニング基礎	旅行のプランニング基礎を学び、作成したプランを実際の研修として行くことで、旅行の楽しさや難しさを実感することを目標とします。実地研修時では、添乗員として誘導・案内も受け持ちます。演習・実習形式	1通	30	1		○	△	○		○		○
14	○			旅行業務基礎	旅行・観光業界で働く上で必要な知識と基本業務の流れを理解できることを目標とします。移動手段や宿泊施設・食事など、様々な旅行商品を的確に選択する方法や、添乗業務全般について学外研修等で学びます。講義形式	1後	60	4	○			○			○	
15	○			海外渡航基礎	海外渡航で必要な基礎知識習得し、お客様へ海外渡航の魅力や注意点を説明できることを目標とします。海外渡航における基本的な流れと知識（世界の国・都市名、旅券・査証、入出国、時差など）を学びます。講義・演習形式	1後	30	2	○	△		○		○		
16	○			観光産業と地方創生	観光産業拡大と共に持続可能な地域づくりを支援・推進するための組織や機能について理解することを目標とします。地域資源の活用や受け入れ施設の整備など、成功例・先進例・課題点を学び、観光の視点で解決する力を身につけます。講義・演習形式	1後	30	2	○	△		○		○		
17	○			観光業界キャリアビジョン	自身のキャリアプランを描き、夢実現のために準備をします。旅行・バス・鉄道会社等の現場視察を通して表向きだけではなく様々な業務・事情を知ることで、即戦力として長く働くためのマインドを育成します。演習・実習形式	1後	30	1		○	△	○		○		
18		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
19		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		
20		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	
21		○		ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
22	○			英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	

23	○			英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2通	120	8	○	△		○		○	○	
24	○			マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	
25	○			イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2前	30	1			○	○		○	○	
26	○			第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
27	○			卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2後	60	2			○	○		○		
28		○		選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2後	30	2	○		△	○		○	○	
29	○			海外実務総合	海外渡航時に必要となる高度な知識や、旅行英語力習得を目標とします。国際航空約款・運賃規則、出入国関係法令時・実務の学習や、一般的な英語だけではなく業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を磨きます。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
30	○			観光地理Ⅱ	海外における観光地の知識習得を目標とします。世界遺産や名所・祭・名産品などについて、所在地・プロフィールなど観光資源全般について学びます。講義形式	2前	30	2	○			○			○	
31	○			観光素材概論	日本の観光・旅行業界で重要な素材である宿泊・ﾃｰﾏﾊﾟｰｸ・料理・飲料知識について、歴史やﾏﾅｰ、特徴、人気の理由、比較＆説明の仕方などを学び、幅広い客層の様々な質問・要望に対応できる教養を身に付けることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
32	○			ツアープランニング応用	個人・団体客の要望に応じた旅行企画力習得を目標とします。行程・見積作成演習で時間管理について学び、国際交流科の団体日帰り研修旅行も企画・実施します。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	○
33	○			旅行業務応用	接客対応と店舗ディスプレイの応用力習得を目標とします。旅行相談のロールプレイングで多くの旅行会社商品から希望に応じたプランを提案する方法や、販促商品の魅せ方などを実践的に学習します。演習形式	2通	60	2		○		○			○	
34	○			旅行総合演習	旅行会社に企画書作成依頼があった実際の仕様書を使用し、旅行実務授業で得た知識・技能を活かして、限られた時間の中で条件をクリアして旅行日程をスピーディーに作成する方法を学びます。講義・演習形式	2通	30	2	○	△		○		○		
35	○			航空端末オペレーション	航空予約端末(Amadeus)の予約業務スキル習得を目標とします。各種情報検索、空席照会、PNR作成などを実際に操作しながら学び、アマデウスシステム検定（Amadeus Reservation Fundamentals）合格を目指します。実習形式	2通	30	1			○	○		○		
36	○			観光資源探求	地元静岡の魅力・観光素材を研究・発掘し、観光客の呼び込みや案内・情報発信スキルの習得を目標とします。旅行会社とタイアップして、マイクロツーリズムの募集型企画旅行を作成・実際に販売もします。演習・実習形式	2通	30	1		○	△	○		○		
合計					36 科目		1980 単位時間										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	２ 期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	グローバルビジネス科 （旧 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科ﾗﾝｹﾞｰｼﾞｺｰｽ）	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	グローバルビジネス科は、実践的な語学運用能力を基盤に、異文化理解力や国際教養、国際物流に関する知識を習得する教育を行う学科である。グローバル社会において、多様な文化や価値観を理解し、国際的なビジネスの現場で活躍できる人材を育成する。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】TOEIC Listening＆Reading Test、TOEIC Speaking Test、実用英語技能検定、日商ビジネス英語検定、観光英語検定試験、日本語検定、サービス接遇検定試験、ビジネス実務マナー検定試験、ビジネス文書検定試験、Powerpointﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技能認定試験、Excel表計算処理技能認定試験、通関ビジネス実務検定、ITパスポート）

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,950 単位時間 単位	750 単位時間 単位	480 単位時間 単位	60 単位時間 単位	0 単位時間 単位	660 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
60 人	24 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)　：　9　人
■就職希望者数 (D)　：　9　人
■就職者数 (E)　：　9　人
■地元就職者数 (F)　1　人
■就職率 (E/D)　100　%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)　11　%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)　100　%
■進学者数　0　人
■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

東京国際エアカーゴターミナル株式会社、株式会社ANACargo、鈴与通関株式会社、HOTEL THE MITSUI HAKONE、パークハイアット東京、LEGOLAND Japan合同会社、エスパシオエンタープライズ株式会社、株式会社NAAリテイリング

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,950 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	90 単位時間
うち必修授業時数	1,950 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	90 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	2 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		3 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	3 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
田崎　至教	一般財団法人　国際ビジネスコミュニケーション協会 広報室／テスト事業普及企画室　／名古屋事業所チームリーダー	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
井澤　友行	株式会社センチュリーアンドカンパニー 東日本事業部第2営業部 兼 営業本部企画営業担当	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
内野　龍樹	株式会社　安心堂 管理部　次長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
増崎　陽介	株式会社 ANACargo 総務人事部　人事課	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
大石　麻美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長・コンシェルジュ科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
山梨　千恵子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 グローバルビジネス科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
アンソニー・クック	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
鍋田　洋子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月20日　13:30～15:30
第2回　令和7年7月24日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・就職先では、ExcelやPowerPointの活用能力に加え、パソコンに関する基礎的な知識やITリテラシーの習得が重要であるとの指摘があったが、ITパスポート試験に準ずる内容をすでに学習に取り入れている。
TOEIC600～700点程度のスコアは、就職活動において英語力を示す一つの指標として有効であるとの意見があったため、引き続きグローバルビジネス科の英語教育を充実させるプログラムをブラッシュアップしていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
グローバルビジネス科の目指す職業分野の一つである国際物流業界において、日本を代表する航空貨物会社である株式会社ANA Cargoより「航空貨物の基礎知識・概要」について実際に会社訪問、上屋見学などを通してより実践的な業務に即した形で学びを深める。OGによる「国際貨物に携わる業務」の内容や学生時代に学ぶべきこと、身に付けておくべきこと等の指導をいただく。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
航空貨物の概要についての講義、上屋見学、会社見学、OGによる講話、輸出業務と輸入業務のそれぞれについてのインサイド、アウトサイドの仕事についてグループでのワークを実施する。輸出業務では実際に輸出書類を読み解き積み付けプランを作成。輸入業務では指示書の作成を担当し、貨物の内容や仕向け地等に配慮して蔵置場所を決める業務を担当する。航空貨物や輸出入の仕組み、国際物流の実務について学び、企業からの評価をいただいた上で成績評価を行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
・国際ビジネス基礎 ・国際ビジネス応用	・講義 ・会社見学 ・OG懇談会 ・港・税関地区見学	国際ビジネスの基本となる国際経済地理、世界の産業や貿易の知識とともに、輸出入、国際物流の仕組みについての基礎を学ぶ。	・株式会社ANACargo ・株式会社ベルキャリエール（鈴与株式会社）

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　空港業務研修　　連携企業等：空港ターミナルサービス株式会社
期間：　令和7年12月18日　　対象：グローバルビジネス科教員
内容　空港インフォメーション業務、グランドスタッフ業務それぞれの内容について、現場見学、必要とされる知識を習得。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　海外貿易実務研修　　連携企業等：未定
期間：　未定　　対象：グローバルビジネス科教員
内容　国際貨物取扱業務全般、通関・乙仲業の業務内容について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	基準(1)　教育理念、目標
（2）学校運営	基準(7)　学校運営
（3）教育活動	基準(2)　教育活動
（4）学修成果	基準(3)　教育成果
（5）学生支援	基準(4)　学生支援
（6）教育環境	基準(5)　教育環境
（7）学生の受入れ募集	基準(6)　学生の募集と受け入れ
（8）財務	基準(7)　財務
（9）法令等の遵守	基準(7)　法令の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	基準(8)　社会貢献
（11）国際交流	基準(8)　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
内野　龍樹　様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
八太　健一郎　様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
井澤　友行　様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
増崎　陽介　様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
平岩　美貴代　様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
柴﨑　鮎美　様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
並川　欣史　様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
中島　理悦子　様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坪井　保人　様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	高等学校
塚本　裕作　様	卒業生（同窓会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	卒業生
佐藤　文俊　様	在校生保護者（後援会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
（3）教職員	教職員数、組織、研修
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
（6）学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
（8）学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
（11）その他	その他の教育活動（附帯事業等）

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

授業科目等の概要

	文化・教養専門課程　グローバルビジネス科																		
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			外国語Ⅰ	第二外国語としてアジアの言語について学びます。日常会話の基本的な表現の取得を目指し、コミュニケーションに必要な語彙・文法の基礎を学びます。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○			○	
11	○			国際ビジネス基礎	国際ビジネスの基礎知識となる国際経済地理として世界の産業や貿易、さまざまな国際規格について学び、輸出入・物流の仕組みなどの国際物流の基礎を学習します。講義形式	1通	30	2	○			○	○	○	○	○
12	○			ＴＯＥＩＣ Ｓｐｅａｋｉｎｇ Ⅰ	英語のスピーキング能力を判定するTOEIC®　Speaking Testに対応したビジネスシーンにおけるスピーキングスキルの基礎を身に付けます。演習・講義形式	1通	30	1	△	○		○		○		
13	○			カスタマーサービス概論	日本が世界に誇るおもてなしの心とは何かについて、グループワークを中心に学びます。また、幅広い接客接遇業界の動向及び職種の内容についても理解を深め、適切なカスタマーサービスを提供できるスキルを習得します。演習・講義形式	1前	30	1	△	○		○		○		
14	○			Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｖｅ Ｅｎｇｌｉｓｈ Ⅰ	課題解決型英会話学習と児童英会話から選択し１・２年生合同で行います。課題解決型英会話は世界の国々をテーマにグループワークやレポートを発表、児童英会話は保育園での模擬授業実施を目標とします。実技・講義形式	1通	60	2	△		○	○		○		
15	○			比較文化研究Ⅰ	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身に付けるための素地を獲得することを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国の文化、世界情勢、国際問題についての理解を深めます。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○		○		
16	○			Ｖｏｃａｔｉｏｎａｌ Ｅｎｇｌｉｓｈ Ⅰ	様々な業界・職種の特徴やそれぞれのビジネスシーンで使われる業界・職業別での英会話フレーズを習得し、ロールプレイング形式での学習を通して理解を深め、職業意識を高めます。演習・講義形式	1通	30	1	△	○		○		○		
17	○			ビジネス英語	国際業務で使用する英文レターやEメールなどのコミュニケーションを円滑に行うためのビジネス英語、海外取引で必要となる契約書などのビジネス書類を読み解く力を習得し、国際ビジネス慣習を学ぶ。講義・演習形式	1前	30	2	○	△		○			○	
18	○			Ｍｉｎｄ Ａｗａｒｅｎｅｓｓ	ウェルビーイングやアンガーマネジメント等、人間関係における選択理論心理学の体系的理解を目標とします。精神面の強化と心の在り方について体験的活動を通して学びを深めます。演習・講義形式	1通	30	1	△	○		○			○	
19	○			デジタルコミュニケーションⅠ	コンピュータ操作やＩＣＴの知識を身に付け、あらゆるビジネスシーンで活かせるデジタルコミュニケーションスキルを習得し、活用するための基礎力の育成を行う。講義・演習形式	1後	30	2	○	△		○		○		
20	○			海外生活・文化研修	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・就業体験を含む海外留学を通して、語学力のﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟとともに異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力を身に付けることを目標とします。英語でのﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを含む事前学習と帰国後、発表会を行います。実習・講義形式	1通	60	2	△		○	○		○		
21		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
22		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		

23		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	
24		○		ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
25	○			英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
26	○			英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2通	120	8	○	△		○		○	○	
27	○			マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	
28	○			イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2前	30	1			○	○		○	○	
29	○			第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
30	○			卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2後	60	2			○	○		○		
31		○		選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2後	30	2	○		△	○		○	○	
32	○			外国語Ⅱ	外国語Ⅰで学習した言語の応用表現を学びます。ビジネスシーンや接客に必要な会話力・表現力を実践的に学習します。講義・演習形式	2通	30	2	○	△		○			○	
33	○			国際ビジネス応用	国際ﾋﾞｼﾞﾈｽ基礎の知識をもとに、貿易実務、通関業務に必要な知識を学び、通関ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務検定の取得を目指すｺｰｽ、また観光業に必要な知識・接客業に必要な表現力を身に付け観光英語検定の取得を目指すｺｰｽに分かれて学習します。講義・演習形式。	2通	60	4	○	△		○	○	○	○	○
34	○			ＴＯＥＩＣ Ｓｐｅａｋｉｎｇ Ⅱ	英語のスピーキング能力を判定するTOEIC® Speaking Test100点以上の取得を目標とします。オンラインツールを活用したアウトプットを軸とした実践的な会話力を身に付けます。演習・講義形式	2通	30	1	△	○		○		○		
35	○			Ｅｎｇｌｉｓｈ Ｍｅｄｉａ	映画・TV・新聞・インターネットなど様々な媒体から発信される最新の英語・旬の英語表現を学びます。ロールプレイングや動画制作など多角的なアウトプットを行うことで豊かな表現力を習得します。実技・演習形式	2通	30	1		△	○	○		○		
36	○			Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｖｅ Ｅｎｇｌｉｓｈ Ⅱ	課題解決型英会話学習と、児童英会話から選択し、１・２年生合同で行います。課題解決型英会話は世界の国々をテーマにしたグループワークやレポートを発表し、児童英会話は保育園での模擬授業実施を目標とします。実技・講義形式	2通	60	2	△		○	○		○		
37	○			比較文化研究Ⅱ	自国文化・風習への理解を素地に、国際儀礼に関する学習を通じて視野を広げ、柔軟な対応力と世界標準の国際マナーを習得します。外部からの外国籍講師による講義も行います。演習・講義形式	2通	30	1	△	○		○			○	
38	○			Ｖｏｃａｔｉｏｎａｌ Ｅｎｇｌｉｓｈ Ⅱ	外資系企業へ就職する際に必要となるスキルを身に付けます。英文履歴書を作成し、それに基づいた英語による面接対策を行います。演習・講義形式	2前	30	1	△	○		○		○		
39	○			English Reading	各自の英語レベルに応じた書籍の多読を通じ、イディオム・語彙力の強化を目標とします。読了ごとに書籍内容の要約と感想を各自がまとめ、読書記録の蓄積を可視化し自身につなげます。実技形式	2後	30	1			○	○		○		
40	○			プレゼンテーション	与えられたテーマに即した必要な情報収集・分析ができる力を身に付け、それらをもとにチームでプレゼンテーションを構成し効果的に発表できる力を磨きます。演習・実技形式	2後	30	1		○	△	○		○	○	
41	○			デジタルコミュニケーションⅡ	国際ビジネスシーンで活用できる国際資格としてMOS(Excel/Powerpoint)、CompTIA IT Fundamentals (ITF+)等の取得を目指す。演習・講義形式	2通	30	1	△	○		○		○		
合計					41 科目						1950				単位時間	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

令和8年6月26日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校	平成20年3月21日	深澤　みほ	〒　420-0839 （住所）　静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目19－15 （電話）　054-292-5755
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	杉浦　哲	〒　420-0857 （住所）　静岡県静岡市葵区御幸町20番地 （電話）　054-202-2490

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	専門課程	コンシェルジュ科 （旧 国際コミュニケーション科コンシェルジュコース）	平成21(2009)年度	－	平成29(2017)年度

学科の目的	日本が誇るホスピタリティ精神と質の高いサービス接遇の力を身につけるため、「広範な接遇実践力」「ホスピタリティマインド」「個別最適型提案力」の習得を教育目標とし、上質なおもてなしが求められる接客の最前線において「会いたくなる」おもてなしのスペシャリストの育成を目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能な資格】社会人ホスピタリティ検定試験、リテールマーケティング（販売士）検定試験3級、TOEIC Listening＆Reading Test、実用英語技能検定、サービス接遇検定試験準1級、日本語検定3級、ビジネス実務マナー検定試験2級、ビジネス文書検定試験2級、赤十字社救急法救急員、 Powerpointプレゼンテーション技能認定試験初級、Excel表計算処理技能認定試験3級

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,980 単位時間 単位	720 単位時間 単位	660 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位	600 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
40 人	25 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)　：　7　人
■就職希望者数 (D)　：　7　人
■就職者数 (E)　：　6　人
■地元就職者数 (F)　5　人
■就職率 (E/D)　86　%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)　83　%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)　86　%
■進学者数　0　人
■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

空港ターミナルサービス㈱、トヨタユナイテッド静岡㈱、コーセー化粧品販売㈱、㈱ヤマト運輸
静岡メディスン㈱、㈱エイジェック

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　なし
※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.s-air.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	60 単位時間
うち必修授業時数	1,980 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	1 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		1 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	1 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界の基本的な知識やスキル、通常業務以外のイレギュラーにも対応できる力をロールプレイング授業等で身につける。最新の知識とともに企業が求める思考力や行動様式を取り入れる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
業界や企業のニーズ・意見を教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置づけを「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、教育課程編成委員会の位置づけに係わる規則」として規定している。またその運営も「静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校委員会等の規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
田崎　至教	一般財団法人　国際ビジネスコミュニケーション協会 広報室／テスト事業普及企画室　／名古屋事業所チームリーダー	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	①
井澤　友行	株式会社センチュリーアンドカンパニー 東日本事業部第2営業部 兼 営業本部企画営業担当	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
内野　龍樹	株式会社　安心堂 管理部　次長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
増崎　陽介	株式会社 ANACargo 総務人事部　人事課	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	③
深澤　みほ	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 校長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
宮城島　進一	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
大石　麻美	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長・コンシェルジュ科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
山梨　千恵子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 グローバルビジネス科学科長	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
アンソニー・クック	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―
鍋田　洋子	静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教員	令和8年2月1日～ 令和9年1月31日（1年）	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回（7月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月20日　13:30～15:30
第2回　令和7年7月24日　13:30～15:30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
・個人情報保護に関するﾘﾃﾗｼｰ・情報の蓄積：専門科目授業内で指導項目として追加。次年度は授業時間数増加を検討。
・内定後の学習内容の強化：ボランティアや英語による接客経験など自身の強みを醸成させる場・発想の提供
・ストレス耐性の強化：朝読書での思考力醸成、1/2年生でのペア活動を日常的に実施し多角的な視点を育成。
・接客英語運用能力の向上：新カリキュラムにて対応中。担当講師とも密なフィードバックを実施。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
指導・評価して頂く企業である、株式会社安心堂は、静岡県内で最も歴史が長く、ブランド認知度及び規模の大きな高級宝飾品を取り扱う企業であり、これまでに学内企業講話、夏季インターンシップ、学生の企業訪問など関係を構築してきている。ホスピタリティマインドや接遇に対する姿勢、在り方についても、人の手による接客から生まれる実践力やマインド、提案力という、コンシェルジュコースが目指すディプロマポリシーの概念と共通しており、今後の学生指導、育成に緊密な連携が期待できるため受任を依頼

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
当科目は本校担当講師と企業との連携講義によって行う。連携企業は月１回程度のペースで本校の当科目の講義を実施し、その間は本校担当講師が企業との相談の上で講義を展開していく。基本事項毎のチェックとして企業に来校頂き、その基本事項の確認と評価・改善項目を教授頂き、次のステップへとつなげ、後期試験後に学生毎の総合評価を付ける。この評価を基に本校担当講師がこの科目の評価を学生毎に付ける。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
総合ブランド理解	企業からの講話及び店舗見学を通じて、取り扱いブランドの理解と接客販売分野における知識・技術の習得を行う。	接客サービスにおいて、ファッション貴金属・宝飾品、時計など国内外の「老舗」について、歴史と主力商品をテーマに取り上げながら、お客様が求める情報を迅速且つ的確に提供するために、どのような準備をすれば良いか、また情報の有効な活用手法や伝え方について、座学及び現場研修から学び、個別最適型提案力の醸成と確立を目標とする。	株式会社安心堂

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
教員研修担当を配置し、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図る為に「教職員研修」を企業及び研究機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　接遇・コンシェルジュ業務研修　　連携企業等：株式会社パレスホテル
期間：　令和8年3月　　対象：コンシェルジュ科教員
内容　①チーフコンシェルジュ（「レ・クレドール」ゾーンディレクター）講話・情報交換②館内における業務・職種の理解

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　チーム開発研修　　連携企業等：㈱ｽﾉｯﾋﾟｸﾘｴｲｼｮﾝ
期間：　令和7年5月　　対象：全教職員
内容　チーム開発力向上のための研修

研修名：　生成AI研修　　連携企業等：Infini Tec Wave合同会社
期間：　令和8年1月　　対象：全教職員
内容　生成AIを教育指導等に活用するための研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　リテールサービス研修　　連携企業等：株式会社安心堂
期間：　令和9年2月　　対象：コンシェルジュ科教員
内容　接遇販売サービスに係る商品知識、提案方法等に係る研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　発達特性理解研修　　連携企業等：㈱Kaien
期間：　令和8年8月　　対象：全教職員
内容　発達特性のある学生への適切な対応と支援のポイントを理解するための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	基準(1)　教育理念、目標
（2）学校運営	基準(7)　学校運営
（3）教育活動	基準(2)　教育活動
（4）学修成果	基準(3)　教育成果
（5）学生支援	基準(4)　学生支援
（6）教育環境	基準(5)　教育環境
（7）学生の受入れ募集	基準(6)　学生の募集と受け入れ
（8）財務	基準(7)　財務
（9）法令等の遵守	基準(7)　法令の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	基準(8)　社会貢献
（11）国際交流	基準(8)　国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
学校関係者評価委員会後に意見を取り纏め、学校としての対応を決定。1年間を通して改善に努め、
次回の委員会時に改善を報告する。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
内野　龍樹　様	株式会社安心堂	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
八太　健一郎　様	株式会社フジドリームエアラインズ	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
井澤　友行　様	株式会社センチュリーアンドカンパニー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
増崎　陽介　様	株式会社 ANACargo	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
平岩　美貴代　様	株式会社ドリームスカイ名古屋	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
柴﨑　鮎美　様	ANAエアポートサービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
並川　欣史　様	名鉄観光サービス株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
中島　理悦子　様	富士スピードウェイホテル	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坪井　保人　様	静岡市立清水桜が丘高等学校	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	高等学校
塚本　裕作　様	卒業生（同窓会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	卒業生
佐藤　文俊　様	在校生保護者（後援会会長）	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	在校生 父母等

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育活動及び学校運営についての理解を求め、企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
（2）各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
（3）教職員	教職員数、組織、研修
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
（6）学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
（8）学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
（11）その他	その他の教育活動（附帯事業等）

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.s-air.ac.jp/entrance/disclosures/
公表時期：　令和8年6月30日

授業科目等の概要

	文化・教養専門課程　コンシェルジュ科																		
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		######		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		コミュニケーションサポートⅠ	入学式、始業式、終業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	1通	30	1			○	○		○		
2		○		キャリアサポートⅠ	就職活動開始までに、必要な基本スキルの習得を目標とします。目指す業界を決め、スムーズなスタートを切るため、各種情報の集め方や筆記試験対策、業界セミナー等を行います。講義・演習形式	1通	90	6	○	△		○		○	○	
3		○		ＩＣＴリテラシーⅠ	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
4	○			立居振舞	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。実技形式	1後	30	1			○	○		○		
5	○			英会話Ⅰ	CEFRに基づくレベル別クラス編成で、英語で自己表現できる能力の育成を目標とします。会話力向上を目的として、ペアワークを中心としたアクティビティを行います。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
6	○			英語検定Ⅰ	レベル別のクラス編成を行い、各自の目標とする級、及びスコアの早期取得を目指します。実務において必要とされる実践的な英語運用能力を身につけることを目標とします。講義・演習形式	1通	120	8	○	△		○		○	○	
7	○			マナー・接遇Ⅰ	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。演習・実技形式	1通	90	3		○	△	○		○	○	
8	○			イメージアップⅠ	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。実技形式	1通	60	2			○	○		○	○	
9	○			第二外国語Ⅰ	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○		○	○	
10	○			ゲストサービスⅠ	テーマパークを中心にした、ゲストの心理と期待とは何かを知り、必要な表現力を習得します。ホスピタリティの在り方についてケーススタディ・ロールプレイングから学びます。演習・講義形式	1通	60	2	△	○		○		○		
11	○			表現技法基礎	TPOに応じた、幅広い表現力の習得を目的とし、お客様の耳だけでなく心に届く声、伝わる表現力を磨き、発声の基本からオリジナル原稿の作り方、読み方等多角的に学びます。実技・講義形式	1通	30	1	△		○	○			○	
12	○			ユニバーサルランゲージⅠ	全てのお客様にご満足いただくために、幅広いおもてなしの現場で求められる接遇英会話を学びます。様々な場面を取り上げロールプレイングを行うことで職業への理解も深めます。演習・講義形式	1通	60	2	△	○		○			○	
13	○			異文化理解	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身に付けるための素地を獲得することを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国の文化、世界情勢、国際問題についての理解を深めます。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○		○		
14	○			コンシェルジュⅠ	コンシェルジュに代表される接遇業界に於ける基本マナー、社会常識や業務知識・技能の習得を目標とします。ロールプレイングを通し「自ら考える」ことを念頭に学びます。演習・講義形式	1通	60	2	△	○		○			○	
15	○			茶道・着付け	日本の民族衣装である着物と、茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞いを身に付けることを目指します。ビジネスシーンにも生かすことの出来る様、反復練習を行います。実技形式	1通	30	1			○	○			○	
16	○			ＥＱ開発	ウェルビーイングやアンガーマネジメント等、人間関係における選択理論心理学の体系的理解を目標とします。精神面の強化と心の在り方について体験的活動を通して学びを深めます。演習・講義形式	1前	30	1	△	○		○			○	
17	○			ホスピタリティマインド	社会人ホスピタリティ検定対策を通じ、ホスピタリティの基本知識と判断力を習得することを目標とします。小テストを実施し理解を深め、検定取得に必要なマインドを学びます。講義・演習形式	1通	60	4	○	△		○			○	
18	○			カラーマーケティング	色彩の基礎をはじめとする、人に与える色の印象を利用したマーケティングについて学ぶことを目標とします。色の役割に着目し、多様な活動を通じて理解を深めます。講義・演習形式	1通	30	2	○	△		○			○	
19		○		コミュニケーションサポートⅡ	始業式、終業式、卒業式など学内の各種行事を実施するための科目です。集団行動や活動を通してコミュニケーション力とチームワークの向上を図ります。実技形式	2通	30	1			○	○		○		
20		○		キャリアサポートⅡ	目指す業界への就職内定獲得を目的とし、採用試験に合わせた個別指導を行います。また卒業後必要となる社会的知識の習得、社会人としての教養を身につけることを目指します。演習形式	2通	30	1		○		○		○		
21		○		教養講座	自立した社会人を目指し、社会で必要となる知識の習得を目標とします。労働法や一人暮らし、税金やローン等のお金にまつわる講座など、幅広い分野の知識を学習します。講義形式	2後	30	2	○			○		○	○	

22		○			ＩＣＴリテラシーⅡ	ﾊﾟｿｺﾝの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したﾚﾎﾟｰﾄ作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、ｾｷｭﾘﾃｨやﾓﾗﾙ、個人情報の取扱い等についても学習します。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
23	○				英会話Ⅱ	１年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。実技形式	2通	60	2			○	○		○	○	
24	○				英語検定Ⅱ	６クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。講義・演習形式	2通	120	8	○	△		○		○	○	
25	○				マナー・接遇Ⅱ	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。演習形式	2通	90	3		○		○		○	○	
26	○				イメージアップⅡ	１年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。実技形式	2前	30	1			○	○		○	○	
27	○				第二外国語Ⅱ	１年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。講義・演習形式	2通	60	4	○	△		○		○	○	
29	○				卒業課題	ディプロマポリシーを基盤として２年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。実技・実習形式	2後	60	2			○	○		○		
28		○			選択科目	２年間の専門教育に加え、本校が専門とする分野を選択、学習することで、新たな知識を身につけることを目標とします。それにより、卒業後に従事する仕事の幅を広げることを目指します。講義・実習形式	2後	30	2	○		△	○		○	○	
30	○				ゲストサービスⅡ	テーマパークを中心に、一年次に習得した豊かな語彙力と表現力に根差した提案力の習得を目指します。顧客とのエンゲージメントとを理解し、ケーススタディから学びます。演習・講義形式	2通	60	2	△	○		○		○		
31	○				表現技法応用	発声の基本を強化し、声や表情、相手に与える印象を含めた表現力の習得を目標とします。特定の相手から不特定多数を対象にした「伝える力」を学びます。実技・講義形式	2前	30	1	△		○	○			○	
32	○				ユニバーサルランゲージⅡ	全てのお客様にご満足いただくために、幅広いおもてなしの現場で求められる接遇手話・中国語を学びます。様々な場面を取り上げロールプレイングを行うことで職業への理解も深めます。演習・講義形式	2通	60	2	△	○		○			○	
33	○				異文化接遇	自国文化・風習への理解を素地に、国際儀礼に関する学習を通じて視野を広げ、柔軟な対応力と世界標準の国際マナーを習得します。外部からの外国籍講師による講義も行います。演習・講義形式	2通	30	1	△	○		○			○	
34	○				コンシェルジュⅡ	適切な洞察力を以て、臨機応変な状況判断を可能にするための、対応力育成を目指します。討論とロールプレイングで、多様な価値観に対する受容的な姿勢と確かな説得力を習得します。演習・講義形式	2通	60	2	△	○		○			○	
35	○				華道	日本の華道と洋のフラワーアレンジメント両方の基礎技術習得を目標とします。お客様との場・時間を上質な空間として共有し、お客様を「迎える」選択肢として静的なもてなしを学びます。実技形式	2通	30	1			○	○			○	
36	○				総合ブランド理解	皮革製品、貴金属・宝飾品、和洋菓子など国内外のブランドについて歴史と主力商品及びクラフツマンシップの観点を学び、案内業務や接遇に必要な知識の習得を目標とします。講義・実習形式	2後	60	4	○		△	○		○		○
37	○				インフォメーションコーディネート	人によるおもてなしから育まれる価値を創造し、お客様が求める情報を迅速且つ的確に提供するための準備、また情報の集約・活用手法を学び、個別最適型提案力の確立を目標とします。演習・講義形式	2通	30	1	△	○		○		○		
38	○				リテールマーケティング	リテールマーケティング検定3級対策を通じ、販売・接客技術の習得を目標とします。販売促進に向けた提案やマーケティング等、幅広い業種で顧客満足を高めるノウハウを学びます。講義・演習形式	2通	30	2	○	△		○			○	
合計						38 科目						1980 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・必修科目、必修選択科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内であること ・学納金の未納がないこと	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	・必修科目は全て履修を行い、選択科目は対象科目から選択とする	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。